

報告要旨

報告者：前山総一郎（福山市立大学）

題目（和文）

米国の都市内分権組織（ネイバーフッドカウンシル）における都市サービスのデリバリーシステムの状況について－日本の都市内分権（まちづくり協議会）との比較

（英文）

Delivery System of Urban Service in Neighborhood Councils in US Cities
－Comparison with Japanese Machizukuri Kyogikai

報告の要旨

1990年代以降、および2000年代以降に米国および日本の諸都市において進展している都市内分権（Neighborhood Council（米国）、まちづくり協議会（日本））においてすすめられる、高齢者の見守りサービスやコミュニティ防犯等の地域サービスの供給へのコミットの実際のありようを、実地調査を通じてそれぞれの背景と展開位相を分析し明らかにする。

米国においては、1980年代に萌芽的に、90年代に本格的に Neighborhood Council がポートランド、ロサンゼルス、シアトル、タコマ市等において設立されてきた。日本においては、2000年代以降、まちづくり協議会（地域組織の名称等）が一般制度と接合した形で少なくとも300以上の市町村において設立されてきている。

ところで、高齢者の見守りサービスやコミュニティ防犯等の地域サービスの供給の点で、その様相について異なることに着目した。そして、制度調査と現地調査（ヒアリング調査）をおこない、米国の都市内分権組織の地域サービス供給の実際について、その提供者、提供される内容、自治体との関係性等の調査をおこなった。

その結果、米国の都市内分権組織の場合に審議会的性質の強く、サービス供給をNPO等に委ねる傾向の強いことが判明し、そしてそれに比して、日本にあっては都市内分権組織自体が供給にコミットする動向がいくつかの諸相を中心として現れていることが浮かび上がってきた。